

必ずお読みください

お施主様用

シマウマⅠ型 キッチンカウンター下収納 (カウンターなし)

取扱説明

発売元



JK GROUP

〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー11F
TEL 03-5534-3716 FAX 03-5534-3856

●製品に関するお問い合わせはこちらまで

製造元 **南海プライウッド株式会社**

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
営業開発グループ	TEL(087)825-3651	FAX(087)806-3640

⚠ ご注意

製品をご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。取り扱いを誤りますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わない取り扱いをされた場合については、当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。

取り扱い注意



水に注意してください。

本製品に直接水をかけないようにしてください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。



重量物を置かないでください。

重量物を置く場合は、荷重に耐えられるよう十分な補強を行なってください。怪我のおそれがあります。

※詳しくは「許容重量」を参考にしてください。

お手入れについて



日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた物を布にしみ込ませ、固く絞って拭き取り、良く乾燥させてください。シンナーなどの溶剤は使用しないでください。



テープなどは使用しないでください。

粘着テープ(セロハンテープ・シールなど)は貼らないようにしてください。表面化粧のはがれるおそれがあります。

許容重量

※下記は許容重量の目安であり、保証値ではありません。(社内データ)

		許容重量
可動棚板	D200	10kg以下
	D300	15kg以下
フリー可動棚板	D200	5kg以下
	D300	10kg以下
ボックス全体		60kg以下
引出し		10kg以下

油やインクに注意してください。



水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

扉の取り扱い注意



扉の開閉時は、指がはさまれる危険性がありますので、充分注意してください。



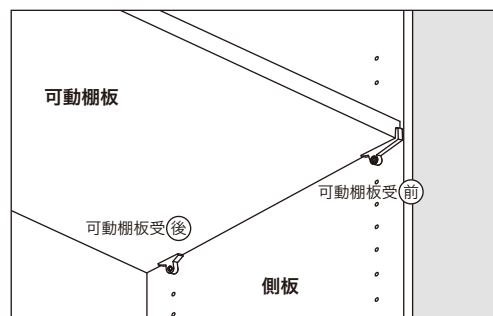
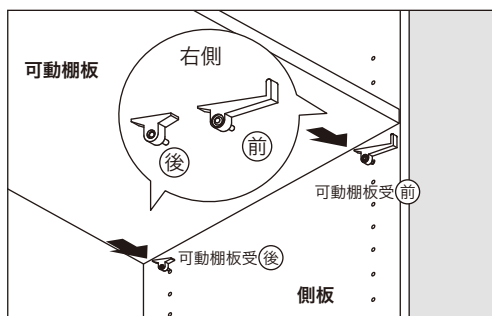
温度差、湿度差は極端にならないようにしてください。扉の反りの原因になります。

可動棚板の取り付け

可動棚板を設置する箇所に棚板受のピンをダボ穴に差し込み、可動棚板をのせてください。

※可動棚板受(前)は形状が左右異なりますのでご注意ください。

※使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。



シマウマⅠ型 キッチンカウンター下収納 (カウンターなし)

施工業者様用

ベーシックボックス

施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

ご使用前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。
施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認
お願いします。



ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工・取扱を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工・取扱を行なった場合については、当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。



野外使用禁止

本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。



傷注意

施工時に部材表面の化粧紙を傷付けないようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内であっても直接水のかかる場所や湿度の高い場所には使用しないでください。



火気厳禁

本製品は木質製品です。火気には充分お気を付けください。



粘着テープ使用禁止

化粧面に粘着テープ(セロテープ・シールなど)を貼らないようにしてください。



溶剤厳禁

水・油・インク・薬品などが付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

発売元



JK GROUP

2011.4

〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー11F
TEL 03-5534-3716 FAX 03-5534-3856

●製品に関するお問い合わせはこちらまで

製造元 **NANKA** 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ

TEL(087)825-3632

FAX(087)825-3695

関東甲信越営業グループ

TEL(087)806-3660

FAX(087)825-3645

首都圏営業グループ

TEL(087)825-3621

FAX(087)825-3645

中部営業グループ

TEL(087)825-3622

FAX(087)825-3646

近畿営業グループ

TEL(087)825-3623

FAX(087)825-3647

中四国営業グループ

TEL(087)825-3624

FAX(087)825-3648

九州営業グループ

TEL(087)825-3625

FAX(087)825-3649

新規需要開拓グループ

TEL(087)825-3631

FAX(087)825-3659

特需営業グループ

TEL(087)825-3662

FAX(087)825-3669

営業開発グループ

TEL(087)825-3651

FAX(087)806-3640

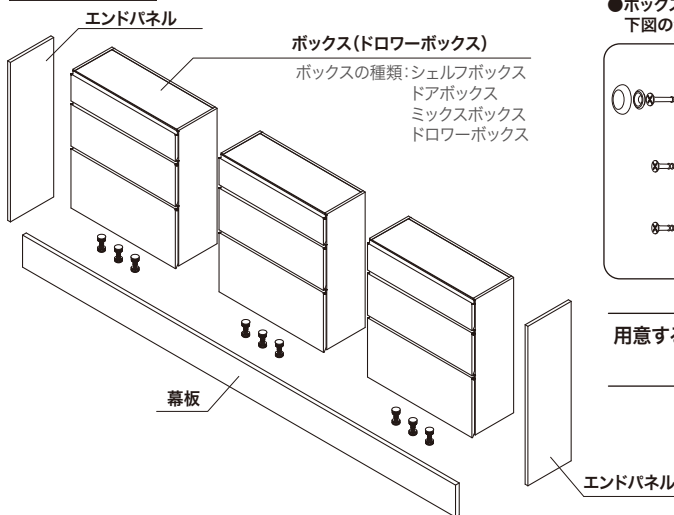
施工手順

ベーシックボックス施工説明

【躯体準備】

- 施工前に躯体の垂直・直角をご確認の上、施工を行なってください。
- 本製品は壁面に対してビスで固定するため、施工壁は12mm厚以上の下地合板を使用してください。
- 幕板セットを設定する場合は **2 5** を参照してください。

製品の構成



●ボックス1セットに対して
下図の金具が同梱されています。

- ビス L=51mm
[ビスキャップ付] / 6本
(ドローボックスはビスキャップなし)
(背面固定用)
- ビス L=28mm / 4本 (上部固定用)
※4本中、2本は予備
- ビス L=28mm
[ビスキャップ付] / 4本
(ドローボックスはビスキャップなし)
(連結・エンドパネル固定用)

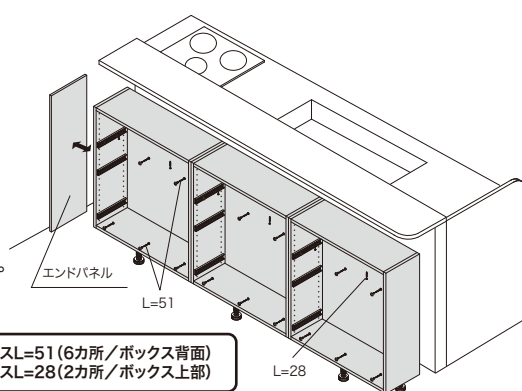
用意するもの ◎電動ドライバー
◎ドライバー(プラス・マイナス)

●幕板セット1セットに対して
下図の金具が同梱されています。

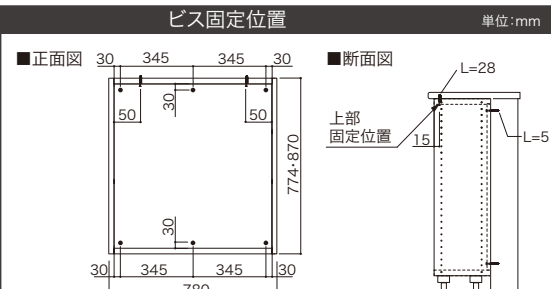
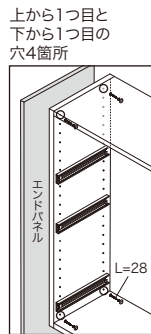
- アジャスター / 9個
- クリップ / 3個
- 受け座 / 3個
- ビス L=41mm / 27本
(アジャスター固定用)
- ビス L=10.5mm / 12本
(受け座固定用)

3 壁側エンドパネル・ボックスの取り付け

壁側のエンドパネル(カットが必要な場合はカットしておいてください)をボックスにビスL=28を使って取り付けてください。その後、ボックスの取り付け位置を決め、背壁面にビスL=51、カウンターにL=28を使って固定し、背面・エンドパネル固定用ビスにはビスキャップを付けてください。

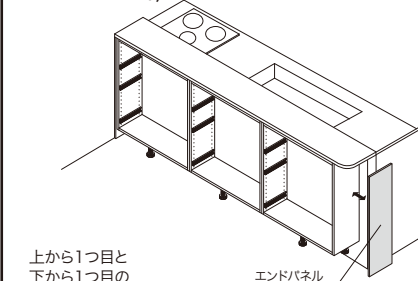


ビスL=51(6カ所/ボックス背面)
ビスL=28(2カ所/ボックス上部)

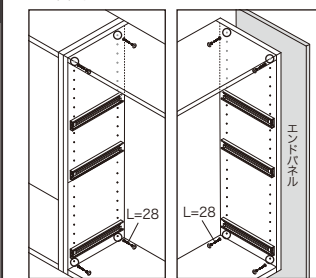


4 連結・エンドパネルの取り付け

ビスL=28を使い、ボックス同士とエンドパネルを固定し、ビスキャップを付けてください。
(エンドパネルのカットが必要な場合はカットしておいてください。)



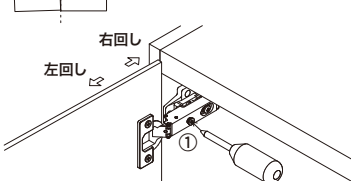
上から1つ目と
下から1つ目の
穴4箇所



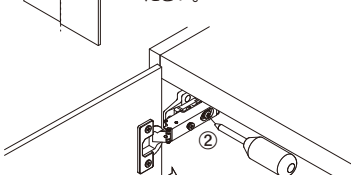
扉の位置調整

⊗電動ドライバー使用不可

●扉の左右の位置を調節
下図①に示すネジを右に回すと扉が(正面から見て)左に移動し、ネジを左に回すと右に移動します。

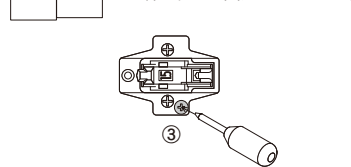


●扉とボックスの隙間を調節
下図②に示すネジをゆるめ、扉を前後に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。



●扉の上下を調節

下図③に示すネジ(丁番座金にあります)をゆるめ、扉を上下に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。



引出し前板の位置調整

⊗電動ドライバー使用不可

前板の上下左右を調節

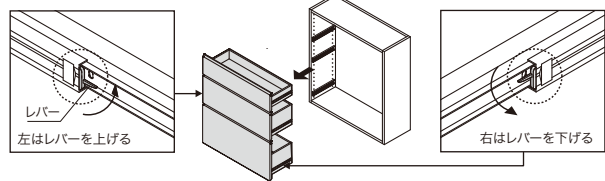
引出し内部のネジをゆるめ、前板を動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。



1 引出し・扉・可動棚板を外す

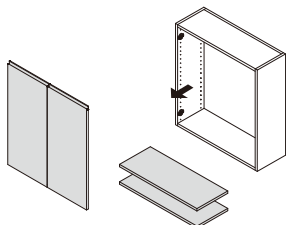
引出しを外す

ドローボックス、ミックスボックスの場合は、ボックスから引出しを取り外してください。



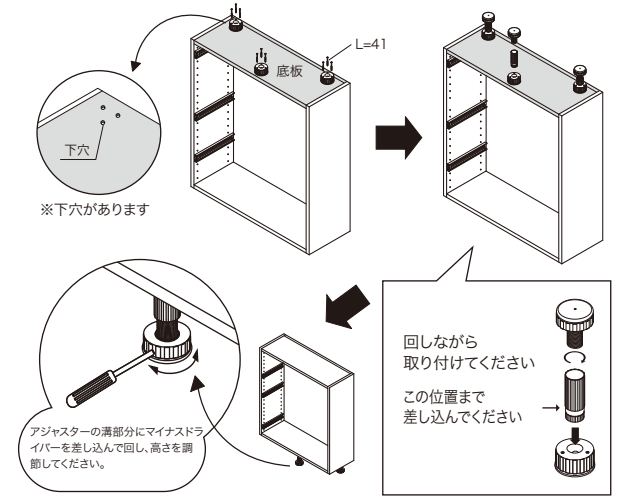
扉・可動棚板を外す

シェルフボックス、ドアボックス、ミックスボックスの場合は、ボックスから扉・可動棚板を取り外してください。



2 アジャスターの取り付け(幕板セット使用の場合のみ)

幕板セットを使わない場合は、そのまま **3** へ進んでください。
ボックスの下部を上へ反転させ、ビスL=41を使ってアジャスターをボックスの下部に取り付けた後、ボックスを反転させ、アジャスターで高さを調整してください。

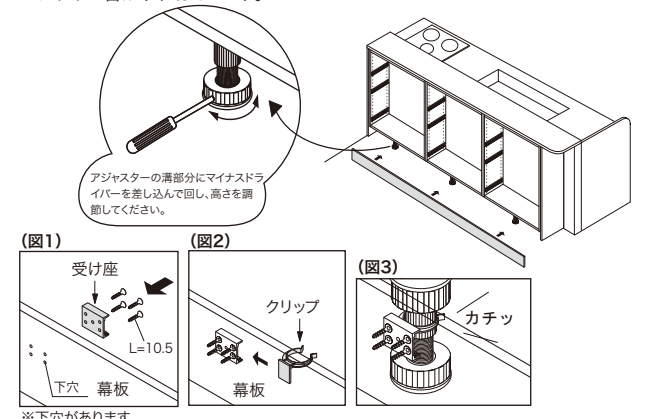


5 幕板の取り付け(幕板セット使用の場合のみ)

幕板セットを使わない場合は、そのまま **6** へ進んでください。

①アジャスターで高さを調整した後、幕板のカットが必要な場合はカットします。
アジャスターの位置と幕板の下穴位置を合わせた上で、幕板をセットしてください。

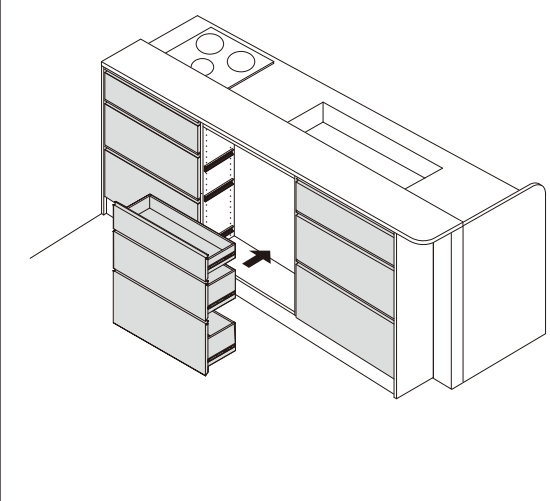
②幕板にビスL=16を使って受け座を固定(図1)し、クリップを受け座に差込んでください(図2)。
③その後、正面から幕板をアジャスターに向かってはめ込んでください(図3)。カチッと音がすればOKです。



6 引出し・扉・可動棚板のセット

最初に取り外しておいた引出し・扉・可動棚板をボックス本体にセットしてください。

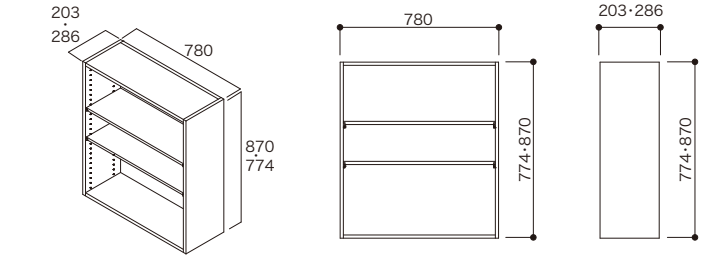
※扉、引出しの調整は右記の「扉の位置調整」「引出し前板の位置調整」をご参照ください。



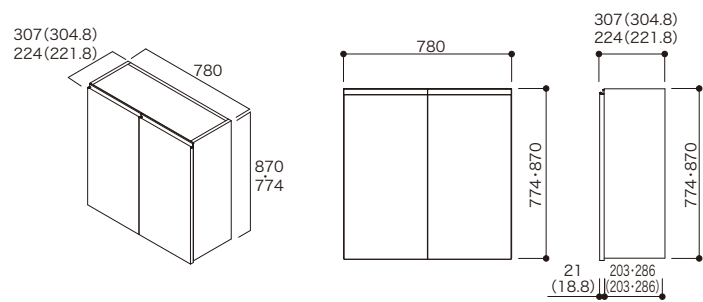
※本施工説明書は、左下記ベーシックボックスの施工方法を記載しております。
右下記載パーツの施工については、別紙「フリーエンドパネル・フリー可動棚板・ショートウォール・ショートボックス施工説明書」をご確認ください。
※「フリーエンドパネル・フリー可動棚板・ショートウォール・ショートボックス施工説明書」は、それぞれのパーツの同梱されております。

■ベーシックボックス

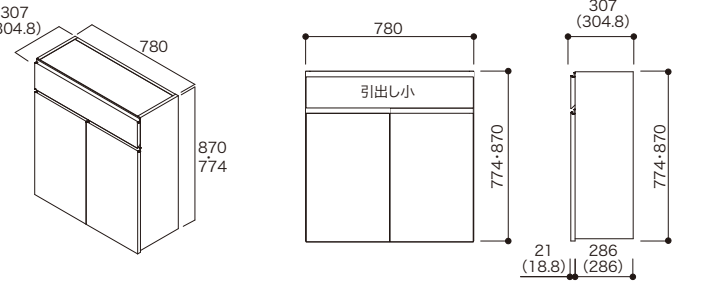
シェルフボックス



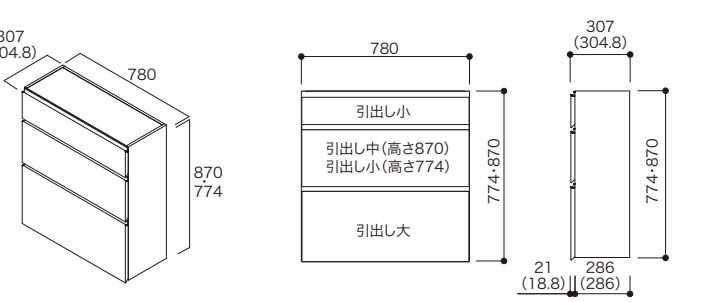
ドアボックス



ミックスボックス

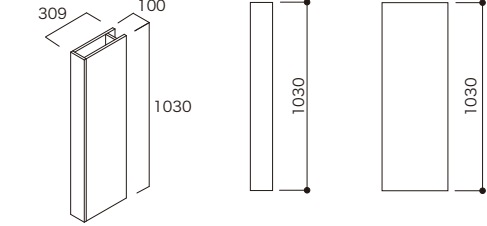


ドロワーボックス



※図はホワイト・ナチュラル・ブラックの場合を表しています。
※奥行部分の()内寸法は、メラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

ショートウォール



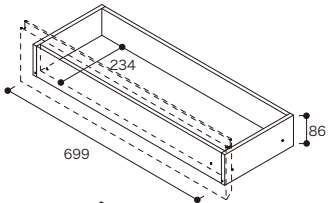
ショートボックス



※図はホワイト/ナチュラルウォールナット/ブラックウォールナットの場合を表しています。
※奥行部分の()内寸法は、メラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

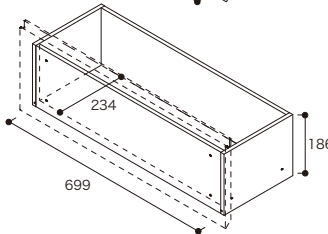
引出し内寸法

引出し 小
(ドロワーボックス・ミックスボックス・ショートボックスに使用)



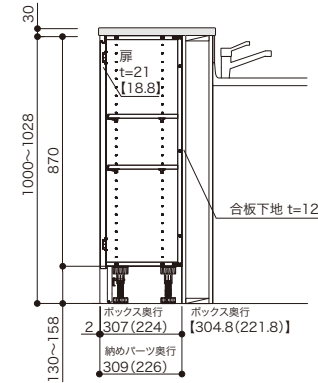
引出し 中・大
(ドロワーボックスに使用)

※中と大では前板のサイズが異なります。



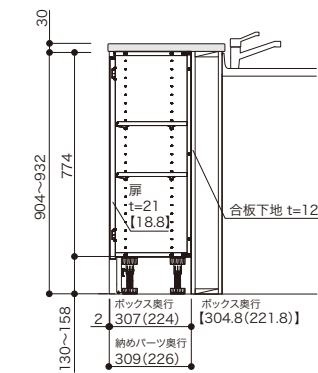
ドアボックス納まり図

アップライト



※奥行部分の()無し寸法はD300タイプ場合、()内寸法はD200タイプの場合を表します。
※[]内寸法はメラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

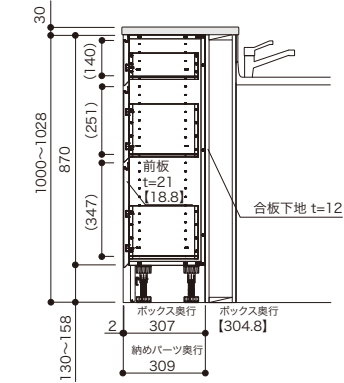
フラット



※奥行部分の()無し寸法はD300タイプ場合、()内寸法はD200タイプの場合を表します。
※[]内寸法はメラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

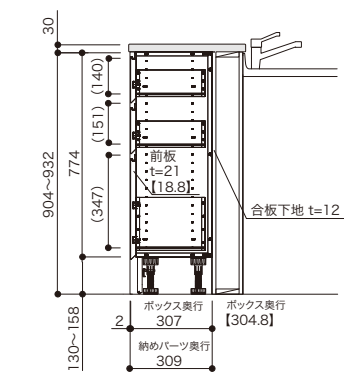
ドロワーボックス納まり図

アップライト



※高さ部分の()内寸法は、最大収納高さを表します。
※[]内寸法はメラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

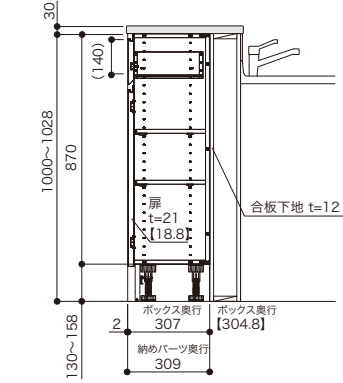
フラット



※高さ部分の()内は、最大収納高さを表します。
※[]内寸法はメラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

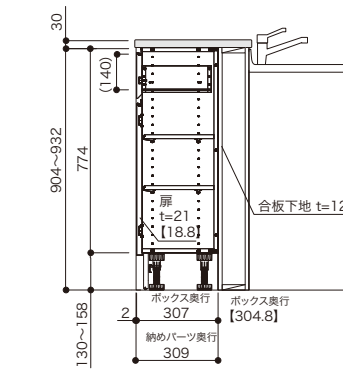
ミックスボックス納まり図

アップライト



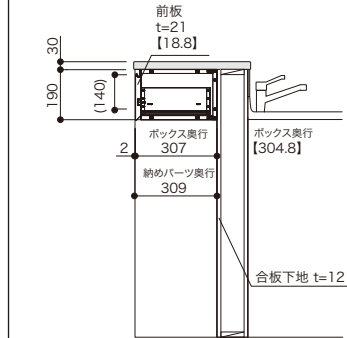
※高さ部分の()内は、最大収納高さを表します。
※[]内寸法はメラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

フラット



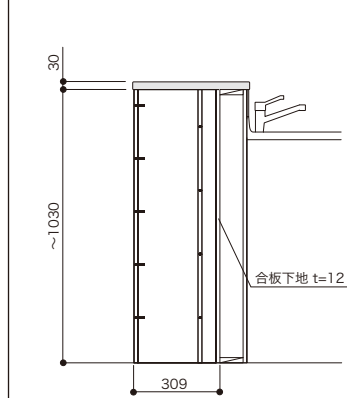
※高さ部分の()内は、最大収納高さを表します。
※[]内寸法はメラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

ショートボックス納まり図



※高さ部分の()内は、最大収納高さを表します。
※[]内寸法はメラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

ショートウォール納まり図



施工手順 フリーエンドパネル・フリー可動棚板施工説明

1

部材について

フリーエンドパネル
226・309

フリー可動棚板
900

1030

218・301

同梱金具
ビス(L=28) ---- 4本
ビスキャップ ---- 4本

同梱金具
可動棚受け---1セット

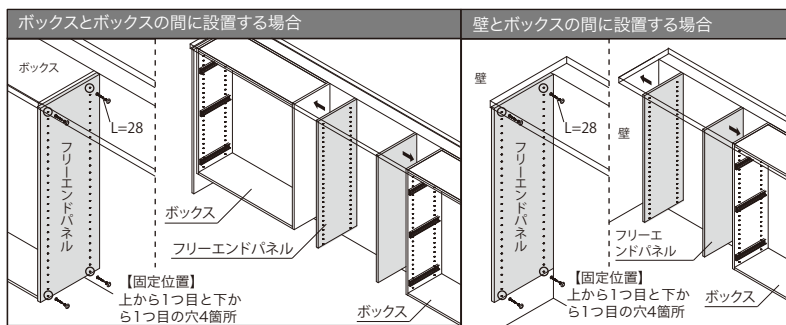
2

ボックスの取り付け

フリーエンドパネル・フリー可動棚板以外の部材を取り付けます。

3 フリーエンドパネルのカット、取り付け

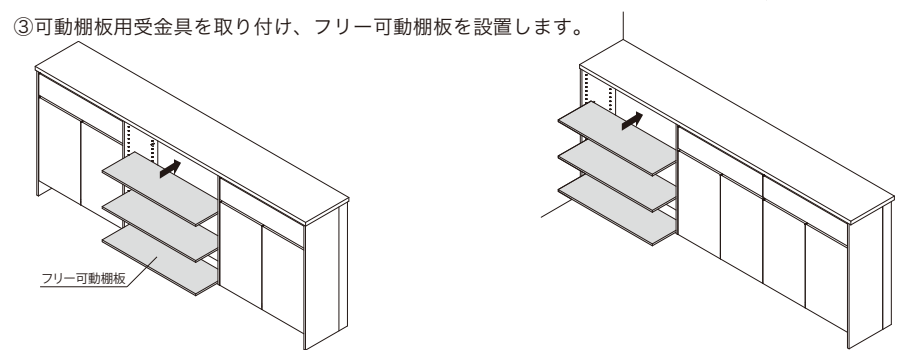
- ①A寸法(製品本体高さ)を下記図で確認します。
- ②A寸法に合わせてフリーエンドパネルをカットします。
※施工する際に下側になる面をカットします。
- ③フリーエンドパネル内側(ダボあり側)よりボックスまたは壁へ固定し、ビスキャップを取り付けます。



③最初に外しておいた引出し・扉・可動棚をボックス本体にセットしてください。

4 フリー可動棚板のカット、取り付け

- ①下記Bの寸法を測ります。
- ②B寸法に合わせてフリー可動棚板をカットします。
- ③可動棚板用受金具を取り付け、フリー可動棚板を設置します。



施工手順 ショートウォール施工説明

1

部材について

側板
×2

前板
100

幕板
69

1030

同梱金具
ビス(L=28) ----- 4本
タッピングビス(L=16) ----- 8本
ビスキャップ ----- 4本
固定金具 ----- 4個

2

側板のカット

①下記のA寸法を測ります。
②A寸法に合わせて全部材(側板2枚、前板、幕板)をカットします。
※施工する際に下側になる面をカットします。

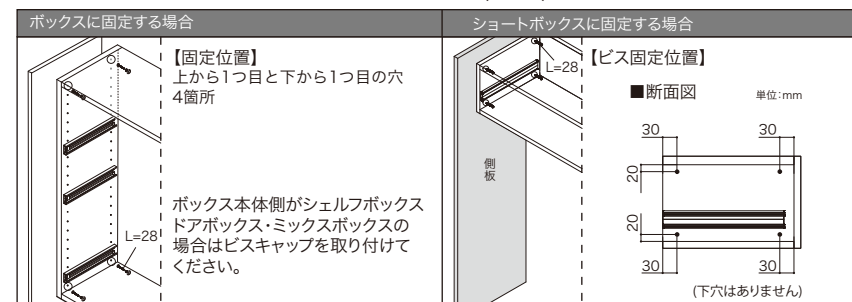
カウンター
製品本体
幕板
床 面

A

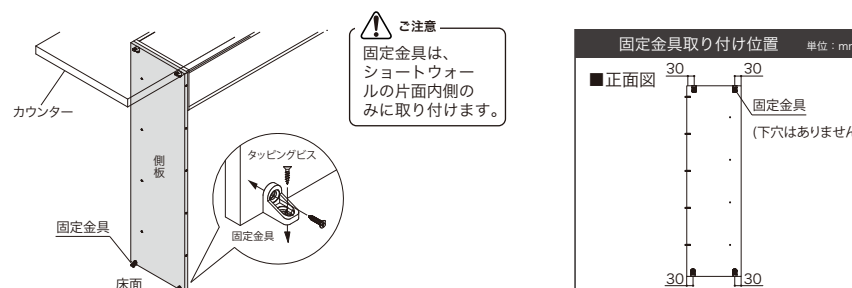
3 側板の取り付け

オープン側に設置する場合

- ①ボックス本体内側よりショートウォール側板へビス(L=28)で固定します。



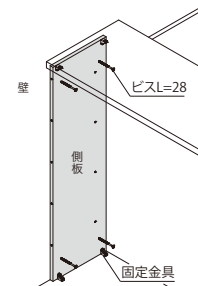
- ②ボックスの外側から固定金具で側板とカウンター・側板と床をそれぞれ固定します。



壁側に設置する場合

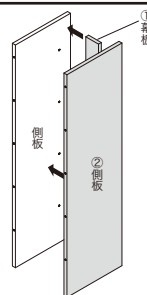
壁側にショートウォールを設置する場合は必ずボックス本体を設置する前に取り付けてください。

- ①ショートウォール側板内側より、ビス(L=28)で固定します。
- ②固定金具で側板とカウンター・側板と床をそれぞれ固定します。
(オープン側に設置する場合②参照)



4 幕板・側板の取り付け

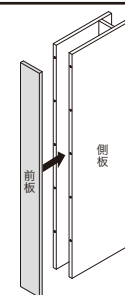
左右側板内側のダボ穴へ接着剤(現場調達)を塗布し、
①幕板②側板の順に取り付けます。



5 前板の取り付け

側板木口面のダボ穴へ接着剤(現場調達)を塗布し、前板を取り付けます。

注意
接着剤のはみ出しにご注意ください。



施工手順 ショートボックス施工説明

【躯体準備】

- 施工前に躯体の垂直・直角をご確認の上、施工を行なってください。
■本製品は壁面に対してビスで固定するため、背側の施工壁は12mm厚以上の下地合板を使用してください。
■ボックスの両側にショートウォールを設置するか、80mm厚以上の造作壁を作り、背側の壁との3方向でカウンターの荷重を受けるようにしてください。

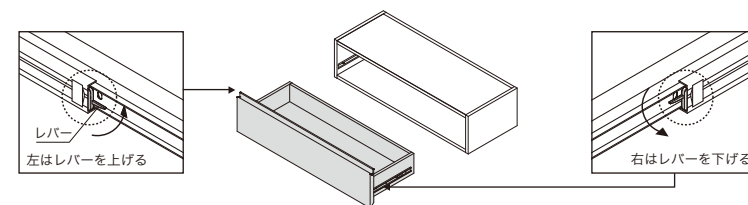
- ショートボックス1セットに対して
下図の金具が同梱されています。

- ビス L=51mm/4本 (背面固定用)
ビス L=28mm/6本 (上部・側面固定用)

用意するもの ◎電動ドライバー
◎持ち手が短いドライバー
(プラス・マイナス)

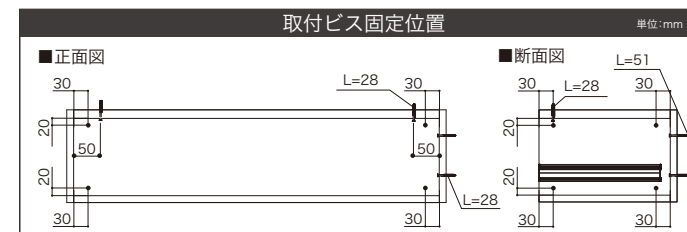
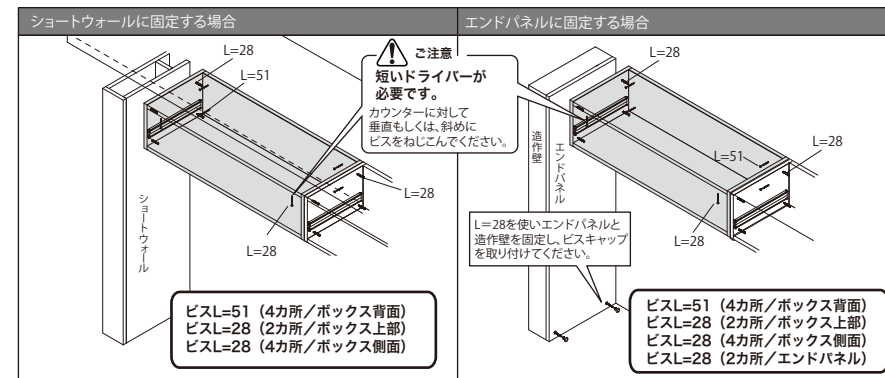
1 引出しを外す

ボックスから引出しを取り外してください。



2 ボックスの取り付け

- ①ボックスの取り付け位置を決め、背壁にビスL=51、カウンターにL=28で固定してください。
②ビスL=28でボックス同士を固定してください。
③ビスL=28でボックスとショートウォール、または造作壁がある場合はボックスとエンドパネルを、ビスL=28で固定してください。



3 引出しのセット

最初に取り外しておいた引出しをボックス本体にセットしてください。
※引出しの取付けは「引出し前板の位置調整」をご参照ください。

